

「平成29年度 第1回 多古町地域公共交通会議」 会議結果概要

○開催日時：平成29年9月28日（木） 14時00分～15時50分

○開催場所：多古町役場 3階 大会議室

○出席者：委員20名

事務局（企画空港政策課）3名

公共交通再編業務委託業者（コンサル）4名

○次第等：別紙のとおり

1. 開会

事務局より開会発言

2. 町長あいさつ

3. 委員紹介

事務局より委員紹介

4. 地域公共交通会議について

事務局より公共交通会議の開催に至った経緯及び公共交通会議の目的等について説明

5. 協議

○事務局

それでは、協議の方に移りたいと思います。協議における議長につきましては、多古町地域公共交通会議設置要綱第5条と第6条の定めにより町長が務めることとなっておりますので、町長お願いいたします。

○議長

協議に入らせていただきます。まず確認で、多古町の公共交通体系を列挙していただいてもよろしいでしょうか。

○事務局

多古町が運行しているものは、循環バス、デマンドタクシー、シャトルバスです。以前は交通事業者が運行していましたが、廃止となって、関係市町で補助金を出し合って運行している廃止代替路線バスというものがございます。また、運行自体は事業者様ですが、運行経費の一部を関係市町で負担している生活維持路線というものがございます。廃止代替路線については千葉交通株式会社とJRバス関東株式会社様に運行を委託しており、生活維持路線についてはJRバス関東株式会社様が運行主体となっております。以上が多古町に関係している公共交通体系となっております。詳しくは資料に沿って委託業者様の方から説明があります。

○議長

それを基に協議事項を進めさせていただきます。(1)多古町における公共交通の現状と課題は、コンサルさんに調査依頼をし、資料もできておりますので、コンサルさんから説明させていただきます。

○コンサル

公共交通再編業務を委託している業者より資料に基づき説明

○議長

コンサルさんから資料の説明をしていただきましたが、これを前提にみなさんが感じていることを含めて意見交換に入りたいと思います。

○委員

資料の確認です。利用者数ですが、往復で乗っているから実数は2分の1というということで間違いではないですか。またデマンドタクシーの登録者数が資料で載っていなかったのを補足していただきたいです。さらに誤解を招かないように指摘しますが、26頁の「無料利用者（小中学生、高齢者）が多い」という文章がありますが、高齢者は無料ではないので書き方が間違っていると思います。

○コンサル

利用者数の実数については、基本的に輸送人員を示しておりますのでその考えで間違いではないと思います。26頁の文章について正しくは、3頁の※1に記載しているように、無料利用者は小中学生と、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の所持者となっております。

○議長

事務局で補足することがあればお願いします。

○事務局

利用者数については、行きは空港シャトルバスを使っているけれども帰りは別の手段ということもございしますが、実数はおよそ半分で良いと思います。デマンドタクシーの登録者数は平成 28 年度末時点で 106 名です。また、資料はよくチェックしていたつもりでしたが、循環バスは高齢者については無料ではないので訂正させていただきます。

○委員

23 頁の補填に対する考え方で、路線バスが廃止路線になるのを止めるために関連市町が協議して残してもらっており、そのことによってどれくらいの金額を補填するかは、市町で決めた考え方があって多古町として補填しているのかどうかをお伺いしたいです。また、循環バスとシャトルバスは 100% マイナスを補填しているという風に感じますが、そういう考え方で成り立っているということによろしいでしょうか。町の政策として容認されているということでしょうか。

○事務局

廃止代替路線バスにつきましては、当初バス事業者様が事業者様の主体で運行していたものが収益等の関係で撤退しましたが、利用者の利便性を考えて関係市町で補助金を出しています。補助金の出し方は自治体を走る距離で按分しています。

○委員

関係する市町で負担している合計がマイナス分を埋めているということによろしいでしょうか。

○事務局

資料に載っているのは多古町分のみ金額です。関係している自治体が運行費用を全て負担して業者が運行しているということです。

○議長

バスを運行している立場から何かご意見をいただけますか。

○委員

コンサルさんにお聞きしたいのですが、色々なところを調査していると思いますが、人口やエリアからみて、例えば地方の便利な町中と比べて全体を 100 とすると多古町はどれくらいになりますか。多古町は、エリアは広いですが鉄道はなく、基本となるバス会社は 2 社ありますが、赤字を抱えて運行しており、流行りのコミュニティバスがあって、さらにデマンドタクシーも出てきています。

○コンサル

同じくらいの規模の町と比べると、根拠を聞かれると難しいですが、鉄道がないので 3～4 割くらいかと思います。

○議長

ベースを補足させていただきますと、多古町は千葉県で面積が2番目に大きい町ですから、おのずと道路の延長は大きいわけです。しかし道路網が十分に整備されておらず、大型バスが走れるところは限られています。また、今流行りのコンパクトシティでまちづくりをしたいと思っておりますが十分ではなく、多古台だけがそういう方向なので効率の悪い部分ではあると思います。そういった問題点を整理した上でどう方向づけるかが、一番の題目だと思います。

○委員

私は多古の者で、JRバスの沿線のため幹線のところは通っていますが、コミュニティバスは昔と違ってどんどん奥まで来ますが、高齢者は足が悪くて出られません。そういった方が不便地域に集中しており、そういったところをみると、デマンドがいいのか、コミュニティバスの小さいものがよいのでしょうか。事業者としても大きな中型車両を抱えてやっていますが、道が良いかと言われれば枝が広がっていて通れないところもあります。同じようなところでどんな風に改善したところがあるのかコンサルさんに色々聞きたいです。

○コンサル

今回は現況と課題を整理しただけだったのですが、次回以降は全国の成功事例を少し紹介させていただきたいと思っております。おっしゃるように、デマンドバスや車両の小型化といっても、最大乗車人員などの利用実績をみるとばらつきがありますので、安易に車両を小さくすればいいものではないと思っております。そういったところを更に分析した上で申し上げたいと思っております。

○委員

成田の方で病院への輸送をお願いされ、病院に行くのに受付を車に乗った瞬間にできないかと提案しました。色々問題があったようで実現できませんでしたが、そういったやり方などの意見もあると思います。

○議長

生活している中で普段感じていることなど、遠慮なく意見をいただければと思います。区町会長さんどうでしょうか。

○委員

道の駅の少し先に住んでいますが、町に結構近いので老人なり子どもなり、家の人が自家用車で連れて来るのがメインでバスはあまり使っていません。道幅が狭く、循環バスが通れないということも聞いています。道幅を拡張して通れるようにすれば、もう少し老人の方もバスの利用ができるのかなと思います。買い物に行けない人は生協の宅配を利用して食料を調達していることもあるようです。

○議長

高齢者の問題が出ている中で、老人クラブの木村会長さんいかがでしょうか。

○委員

高齢者がブレーキとアクセルを間違えたというのをテレビで見るたびに肩身の狭い思いをします。私自身は色々と役職をしていますので自家用車でなければ用が足りず、車を利用していますが、多古台駅から役場までの間の夜遅くのバスが3便なくなったと聞きました。町中から通っている人は多く、多古台のバスターミナルで降りた場合、ここまで来る間に明かりがなく怖い思いをしているようなのでバスの便を元に戻してほしいという声は聞いています。

デマンドタクシーは、高齢者には横文字ではなくもっと分かりやすい言い方がいいと思います。社会福祉協議会で同じようなタクシーの運行をするようなことを聞きましたが、デマンドタクシーと重複していることが気にかかっています。

また、老人クラブの人員は1,459人、クラブ数は47あります。県内54市町村の中で加入率は2番目で、町村で言えば1番なのでこれは自慢できることかと思えます。今年2月に老人クラブ連合会の芸術祭が行われ、会場は多古町の文化ホールでした。県内54市町村から集まって芸を発表するというので、その際に初めて来た方々が「こんなに素晴らしい施設があるんだ」と多古町のことを知らなかった方たちに多古町を知っていただき幸いでした。隣の区長会長さんにお問い合わせがございしますが、老人クラブのない集落がございしますので、この機会に区長会としても組織できていない区がございましたら是非老人クラブを設立していただきたいと思えます。

○事務局

デマンドタクシーの呼び名ですが、多古町のゆるキャラから通称として「たまこタクシー」という呼び方をしています。今年の2月から3月にかけて公共交通のアンケートを実施しましたが、その中でデマンドタクシーを知らないと答えた方が約6割でしたので、デマンドタクシーの広報活動はしていかなければならないと認識しているところです。

○議長

デマンドタクシーと循環バスの取り合わせも今後検討しなければなりません。経費の内容をみてみますと、循環バスは全体の経費に対して収入が1割程度で、バス停まで距離があるなど使い勝手が悪いうえに収益率が低く、これから循環バスを改善する、デマンドタクシーを充実させるなど色々な方策があろうかと思えますので、事例を含めてご指摘していただけると幸いです。

小学校が統合で3ルートのうち2ルートはスクールバスの代替で利用率は減っていますが、残っている中・常磐地区の小学校が無償で循環バスを利用していますので、循環バスとスクールバスを併用しているという結果になっています。これは、色々問題点を整理していく中で分離すべきところではないかという思いもありますので、こういったことを踏まえて検討していかなければならないと思えます。

また、千葉交通さん、JRバスさんにお申し、今までの現状を少しでも維持したいと努力してきたわけですが、多古町はエリアが大きい割に過疎となっており高齢化率が高いということで、

今後解決策をどこに持っていくかがポイントだと思っています。

○委員

デマンドタクシーは土・日・祝日に限られた運行ですが、土・日・祝日は公共施設などの休みが多いので平日にも運行すればかなり利用者は増えるのではないかと思います。また、現在は利用者を運転のできない高齢者や体の不自由な方に限定していますが、利用者の幅を広げたらどうでしょうか。利用者が限られたなかで、さらに土・日・祝日のみだと今の状況が限界ですが、ただ、利用者には評価されています。バスとの組み合わせが課題となってくると思います。

○議長

私の主観が入ってしまいますが、今までバス路線などは運輸局の許認可があまりにも多すぎるということで、地方のバス運営協議会に委ねて改善していますが、やはりまだ障壁があります。警察庁の方が75歳以上の免許証返納の法律強化をする前に、警察庁の参事官が多古町の実態を教えてくださいと来たことがありました。これから法整備をしていく基にしたいということで、島地区の老人の交通安全教室などもつぶさにみていただいて、そのときに「免許証返上は簡単だが、こういう実態で足を確保できないと高齢者は家から出るなという話になってしまうので、もっと国が真剣に考えてほしい、末端の町村だけではカバーできない」という話をした覚えがあります。それが運輸局長の方に連絡がいきまして、色々問題点を相談したいからきてくださいと言われたのですが、町内での調整もできていないため、これから方向性を議論した上で相談があれば伺わせていただきますということになっています。交通体系はローカルな地域においては大変な状況だということは認識していると思いますので、具体的に策を考えてほしいという思いです。教育関係の方で何か意見がありましたらお願いします。

○委員

学校関係の交通体系につきましては、登下校で活用させていただいています。今のところ中学生においては、スクールバス化していませんので、循環バスを利用しています。そうすると部活動をやっている子どもの時間帯、部活がない日の時間帯などがバラバラで、循環バスだとルートが決まっていて、どこに何時という運行計画があるため、子どもらが帰れない状況になってしまったり、それに合わせるために保護者が仕事を切り上げて迎えに来るといった問題が生じています。循環バスが効率的にも費用的にも矛盾を生じているならば、やめてしまってスクールバス化していただければこんなに良いことはないと思っています。現在は久賀・多古小学校でスクールバスを利用しています。第二小学校のときは循環バスを利用したりしていましたが、スクールバス化して問題が一举に解決しました。例えば中学校に3台置いていただいて、中学校の教育課程の時間に合わせた運行をして自由自在にできるということがあれば、子どもらの交通安全、そして登下校の不審者対応といった問題も一举に解決できると思います。ただ、循環バスが地域の足というのであれば別ですが、実態をお聞きするとほとんどそういうことがなく、利用者は登下校の時間は子どもたち、その他の時間は高齢者ということなので、その他の時間で循環バスが必要などころにデマンドタクシーを平日にも動かすなど、上手く活用することができないでしょうか。

循環バスを廃止するとかかなり費用的にも浮くと思うので、それをデマンドタクシーに充てればある程度解決すると思っています。

○委員

中学校はこの広い多古町全体が学区ですので、教育長がおっしゃったように、スクールバス化してもらえればどんなに有難いかと思います。

お話をする前に、先程老人クラブの人数が1,459名ということをお聞きして驚きました。小中学生全員を合わせてもその半分以上ではないかと思しますので、今の多古町の現状を良く表していると感じた次第です。

小学校の校長を長くしておりましたので、小学校について触れたいと思います。小学校でスクールバスを運行していないのは常磐小学校と中村小学校ですが、先程のデータのところに常磐小学校はスクールバスがないため循環バスを利用している生徒がいるとありますが、中村小学校も常磐小学校と隣接しているために中村小学校の校長をしている当時は利用している生徒が若干いました。スクールバスがない小学校2校が循環バスを利用していることは間違いのない事実だと思えます。

中学校の現状を申し上げますと、歩いて帰れる範囲の生徒は徒歩、それ以外の範囲は自転車为原则としていますが、現状ほとんどが保護者の送迎です。朝はコミュニティプラザまで車で送ってもらい、お迎えも同じように終わった時間に生徒がコミュニティプラザまで行ってそこで待っている保護者の車に乗って帰っています。長い目で見たときに、送迎している今元気なおじいちゃん、おばあちゃんが今後どうなっていくのかを危惧しています。それから、自転車通学为原则としていますが、10km近くの距離を乗ってくる生徒もあり、安全確保をどうするかという問題があります。長い目で見たときに自転車通学に代わる手段を考えていく時代が来るのではないかと思います。小学校は4校ですので、これからどのように編成されていくのかは未定ですが、最終的には町内の小中学校は安全で確実なスクールバスという方向が良いのではと思います。

多古高校を応援する会があった際に、町の循環バスを多古町の町境まで行き、匝瑳市の循環バスをそこまで来てもらって匝瑳市の多古高校に通う生徒にそこで乗り換えて通学してもらったらどうかという話ができました。生徒の募集に困っている多古高校の生徒を増やす一つの案として、匝瑳市さん、香取市さん、成田市さんとそういうことができたなら多古高校の生徒が増える援助になると話したのですが、何はともあれ、多古高校の生徒はバイクの通学が多いと聞いていますので、安全確保の面で解決する手段となれば良いと感じています。

○委員

現在3分の1強が多古町内から通う生徒です。それ以外が町外ということになりますが、バスの利用ということを考えますと、町内、町外含め大体21%くらいがバスを使っています。電車を使う子もいるのですが、電車を使う子は必ずバスに乗りますので、合わせた数が21%ということになります。成田空港からのシャトルバス、八日市場駅から来る路線バス、佐原駅から来る栗源線のバスの利用が必ず必要になってきます。先程教育長から中学生の下校の時間が幅広いという話がありましたが、高校の場合はもっと広く、16時から20時までの約4時間の間の中で帰りま

す。例えば最終バスが 20 時であれば、20 時までには部活動を終えて帰れるようにするというタイムリミットがあります。

高校での生徒募集を考えるときに、バスでの通学の便利さが増せば増すほど町外に出て行ってしまう恐れもあります。そうさせないためにも、学校としての魅力を持たないといけないということも頑張っているつもりです。現在旭方面、成田方面、香取市佐原方面からの生徒たちを、主に路線バス、場合によっては原付バイクでの通学も認めています。そういったことで生徒募集をしないと集めるのが大変というのが現実です。

約 350 名近い生徒の中で、100 名を超える生徒が保護者の送迎が交通手段となっています。バイク通学は免許が取れる年齢になると増えていきますので、大体 70～80 名が 3 学期になるとバイク通学になると思います。バイク通学の良いところは時間に縛られず自分の力で登下校できることです。ただ安全面で心配がありますので、年間 4 回程度しつこく安全指導をするということも併せてやっております。原付での通学の生徒数が千葉県内で一番多い学校となっていますが、自分の力で通学するには、自転車よりもある意味安全が確保できるということもあって、事故が起きないように運転させるということであれば、増える分にはしょうがないと考えています。あとは路線バスがどれだけ朝・夕・夜の本数を確保できるのかというところが重要です。

○議長

色々と問題点も含めて意見も出てきたと思います。特別なければ、進行上次の（3）その他に行きたいと思いますが、何かございますか。

○委員

デマンドタクシーについて、登録が 106 名いるということですが、土・日・祝日の休みの日だけ運行しているのは全国的に珍しいと思います。この 106 名の方が平日バスを利用しているのか、それとも家から出ないのかなど、平日に何をしてどのような交通手段を使っているかというような調査結果があれば、教えていただきたいと思っています。

○議長

社会福祉協議会で有償運送というものもやっているの、この辺のところでもカバーしていると思います。しかし、ご指摘のように土・日・祝日のみの運行で問題点が大きいということで、事務局はこれからの検討の大きな材料だと認識していると思います。

○事務局

今日は国の方もみえていますが、今までの形に囚われない有償運送など色々と検討されているという内容が町の方にもございます。特に 75 歳以上の免許返納ということで、周辺の自治体ではそれに対する対応策で、公共交通機関の割引やタクシー券を補助するといったことをしているところもあります。

今回の会議は循環バス、デマンドタクシーに絞った形で議論させていただきました。コンサルさんも言いましたが、この次は色々な先進的な事例を紹介し、ご意見をいただきながら進めたい

と思いますが、有償運送は今後色々なものが考えられると感じております。

○委員

個人的な意見となりますが、教育長がおっしゃったように、スクールバスでやっていくのが一番良いと思います。循環バスの1便と5便は学校に通うための時間で運行しているとしか感じられません。子どもたちを運ばなくてはならないという大前提があつての時間だと思います。スクールバスを運営してこの時間をもっと使いやすい時間に割り振ったらどうでしょうか。75歳以上で免許返納した人はまだ元気ですから、バスに乗ってどこでも行けるわけです。割り振ったらもっと乗る人が増えるのではないのでしょうか。

○事務局

中学生の利用を曜日ごとにみますと、部活のない月曜日は多くなっています。月曜日は乗るけど火曜日以降は乗らず、保護者の送迎に頼っている生徒が多いようです。中学生にとってもある意味使い勝手が悪く、12月に利用者アンケートを循環バスで行ったところ、5便ではなくもう1便増やして6便ほしいという声があつたのはそういうところによるのではないのかと思います。

また、高齢者の意見では、学校の登校時間に合わせると高齢者にとっては早いというような声がありました。利用目的の違う方が一緒に乗るとどうしても良い形にはならず、その中間をとってバスを5便運航しているのが現状ですので、議長が言われたように、そういった方向も一つの検討なのかなと思っています。

○議長

今までの意見を聞いて、中村さん何かご意見をいただけたらと思います。

○委員

今多古町で行われている公共交通をみると、路線バス、循環バス、デマンドタクシーなど、全国でやられている交通手段の一通りのことをやられているという印象です。後はどう効率化するかというのが課題ですが、最終的には町がどこまで補填できるかということに尽きるのかなと思います。収支率の目標をどこに持っていくのか、その範囲内で一番効率の良い手段を詰めていく必要があります。

先程事務局がおっしゃいました有償運送の関係については、これまでやられていたのは福祉輸送の形だと思いますが、市町村が自ら行う有償運送につきましても車両の範囲が緩和されたということもありますので、そういったことも視野に入れながら活用を検討されると良いかと思います。

○議長

(3) その他に移りたいと思います。問題点の提起もいただきましたので、次回その辺のところも含めてコンサルさんはよろしく申し上げます。それでは事務局お願いします。

○事務局

貴重なご意見ありがとうございました。まず、今後の予定についてご案内いたします。本日1回目は現状の把握ということで、多古町における公共交通の現状について皆様にご理解いただけたかと思えます。第2回目については、具体的な再編案ということで、いくつかのパターンを作ってお案内できればと思っています。その中で色々なご意見を頂戴しながら、どの案が良いのか詰めていきたいと思っています。時期としては11月の中旬から下旬あたりで開催させていただきたいと考えています。今年度は3回程度開催したいと思っております、第3回につきましては、2月中の開催を予定しています。第3回目については具体的な案が煮詰まるような形がとれたらいいかなと思います。

公共交通会議の扱いは、要綱の中でも定めておりますが、原則公開となっております。そのため本日の資料や議事録はホームページに掲載し、広報で概要をご案内することを考えていますのでご了承いただきたいと存じます。事務局からは以上となりますが、委員の皆様から何かあればご発言いただければと思います。

○議長

次回用意してもらいたいものなどがあればご発言ください。

○委員

今は自動運転しているバスも多いと思うのですが、自動運転の資料などがあれば面白いと思います。千葉市の特区である幕張は来年には自動運転のバスが運行されるという話も聞いておりますし、地方の山奥ではエスティマの自動運転で山の奥までお年寄りを運んでいると聞いていますので、そういった部分で情報をもう少しいただけると役に立つかと思えます。

○委員

運転免許証自主返納の数を調べていただきたいと思えます。

○議長

警察署の方で把握していますか？

○委員

はい。

○議長

自主返納した方への優遇策がどのようなものがあるかを調べておいてほしいと思えます。最初の挨拶で触れたように、多古町はこれから空港問題で大きな集落が移転をせざるを得ないという状況になっています。そうしますと道路網はもちろんのこと、交通体系も大きく変わってくるという状況下にあります。代替地を用意するにあたっては交通の利便性を確保しなければならないので、このようなことを含めて具体的に進めなければなりません。次回までにコンサルさんに情

報を整理していただいて、アイデアがあれば提供していただきたいと思います。それでは事務局にお返しします。

○事務局

以上をもちまして第1回多古町地域公共交通会議を閉会したいと思います。先程ご案内した通り、2回目は11月中旬から下旬を予定しております。事前に課題や論点、具体例などを資料にして開催通知とともに皆様にご案内したいと思いますので、ご出席の程よろしく願いいたします。本日はありがとうございました。

6. 閉会

以上